

郷の集

発行 新郷校愛護会
編集者 高野久
印刷所 高野印刷所

相撲大会參觀記

会長 西正治郎右工門

梅雨のあい間を縫ったわすかの晴間の日。

去る五日、新郷小学校に於て芦原部小学校対校の相撲大会が開かれ、私も自分の学校で大会が開かれるので早速応援方々出掛けました。選手、かんとの先生方や一般の方々が大勢見守る中、元氣一ぱいの試合が進められ、思わずかん勢と拍手の上を見学致しました。

どの試合を見て居ても思ふままの様な試合で、みな選手は力任せに同じだと思ひます。あと一息と云うおしい差で負けると云つた様な試合ばかりでした。

団体戦に於ては入賞を逸したけれども個人戦に於ての一位入賞等は、吾が校の意気を盛り上げられるに十分の活やくたつたと思ひます。今年の大会を経験として、来年はもう一そう頑張つて欲しいと思ひます。

幸い怪我人もなく無事終了することが出来た事は本当に嬉しい事だと思ひます。最後に土俵作りに協力を頂いた会員の皆様及び体協の方々々に深くお礼を申し上げたいと思ひます。

ありがとう御座いました。と混雑する事と思ひます。又たのしい夏休みも近づいて来ましたが、海水浴とか父兄と町へ出かける事もあるかと思ひます。学校生活がねく例も少くありません。父兄の皆さん方良く注意して住良い郷土から一人の事故者も出さない様協力をお願い申し上げます。

「事故は忘れた頃に」

事故は忘れた頃にやつて来る。現在では、交通事故が最も多く交通事故に、なやむ「子供さんを持つ親」人のために事故防止に務める警察、交通指導員の方の努力に、私達は感謝しなければなりません。

事故を恐れ子供たちが、交通規則を正しく守つても、一方的に発生する場合それは、運転する人の不注意、歩行者の安心感

「歩行者優先」が事故発生の原因ではないでしょうか。先日事故で、横断歩道を渡つて居る幼稚園の列にダンブカーが突入して十数人の死傷者をだした惨事も、こは「横断歩道である」と言う安心感で渡つた。ことが原因の一つであったかも知れません。

今日、現在では、横断中「自動車は止る」と言う。安心感はありません。

詩

道 青木祐子

朝の光と共に
明かぬ希望を持つて
今日一日を楽しく生きよう

明日への幸福の道
共に歩んだ夜の道
どこまでつづるか果しなき

今日もさまよい歩いたけど
暗いこの世のいばら道

読書感想文

かあちゃん

十一人の子ども

足入れ祝言のあくる朝、気が育てた。多忙の中でも子供達にできるかぎり面倒を見てやつた。そのおかげで母の日は、子供達からのプレゼントに涙を流してよこんだ。現在では一人や二人の子供で老後が案じられるようです。

この本は、末つ子の都さんが高校一年の時に書いた詩が文部大臣賞を受けた母をたたえる詩をもとに、その母「吉田とら」さんに現在までの苦勞を書いてもらつた本です。

沢山の子供を育てて苦勞していたが、今では、「日本一幸せな母」で毎日を送つていられることでしょう。

小島美智子

とびだすな！ 車は急に止まらない

芦原町交通指導員 小島昭夫

九十有余年の歴史と、数舎、御父兄の汗の滲んだ施々の伝統を誇る新郷校！
教育意慾に燃え、自ら学ぶことによつて、最愛の子どを育て、との信念に満ち溢れ、教育第一主義を標榜しておられる皆様方をもつ本校に動かし得ないことを喜び、心から感謝いたします。

緑の樹々に囲まれた学びの場、御父兄の汗の滲んだ施々の伝統を誇る新郷校！
教育意慾に燃え、自ら学ぶことによつて、最愛の子どを育て、との信念に満ち溢れ、教育第一主義を標榜しておられる皆様方をもつ本校に動かし得ないことを喜び、心から感謝いたします。

梅雨のあい間を縫ったわすかの晴間の日。
去る五日、新郷小学校に於て芦原部小学校対校の相撲大会が開かれ、私も自分の学校で大会が開かれるので早速応援方々出掛けました。選手、かんとの先生方や一般の方々が大勢見守る中、元氣一ぱいの試合が進められ、思わずかん勢と拍手の上を見学致しました。

どの試合を見て居ても思ふままの様な試合で、みな選手は力任せに同じだと思ひます。あと一息と云うおしい差で負けると云つた様な試合ばかりでした。

子供会育成運動に憶う

よき少年少女が国に満ちることは明日の国家がよい国家であることを約束するものである。よき青少年を育成するためには、おとながなつてあらわれたいと思ふ秩序たつた道徳的な社会を形成しなければならぬ。

これが、青少年育成についての基本であり、私の信念でもある。青少年は大人のすることを見たり聞いたり、真似たりさらにそれを発展させていくものであつて、青少年の美事業行も非

もとめるための理想、道徳生活信条などについて、自主的にとりくむ素質と能力を具備している。人の性は、生まれながらにして善であり、もの心がつくようにならば是非善悪は教えられなくても良心の働きによつて判断がつくものである。これは決して強いであつて、あつては強いのではなく、自ら覚えることである。これがこのまじい人間像をつくりあげるための基本的条件である。ところが自ら覚る間になることは、なかなかむずかしいものである。七

高野 薫

